



ふくい

市議会だより

No.204

平成29年2月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506



議場コンサートの様子(平成28年11月29日)

主な内容

常任委員会県外視察報告……………P2・3

行政視察受入状況……………P4・5

一般質問……………P8～P13

12月

定例会

平成28年度福井市一般会計補正予算を可決

12月定例会は繰り上げ招集され、11月29日から12月20日までの22日間の会期で開かれました。

今定例会では、9月定例会において継続審査となっていた平成27年度各会計歳入歳出決算の認定等にかかる議案4件のほか、「平成28年度福井市一般会計補正予算」など市長提出の議案34件、報告3件を審議した結果、議案は32件を原案どおり可決、2件を認定、2件を可決及び認定、2件を同意、報告は1件を承認、2件を受理しました。

また、請願、陳情については、今回提出された請願2件、陳情2件を審議した結果、請願1件、陳情1件を採択、請願1件、陳情1件を不採択とすることに決定しました。

さらに、議員提出議案として、「福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」、「平成30年産を目途とする生産調整の見直し等に関する意見書について」、「教員の働き方の改善に関する意見書について」及び「地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について」の4件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。なお、意見書については、関係機関に提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を22人の議員が行い、12月20日、予定した日程を全部終え閉会しました。

議場コンサートの開催

12月定例会開会前に議場において、熊本地震で被害を受けた姉妹都市の熊本市が、震災から一日も早く復興することを願い、熊本市を応援するためフルートとオカリナ・電子ピアノによる演奏会を開催しました。

常任委員会 県外視察報告

平成28年10月に県外の先進地を視察しましたので、その内容について報告します。

建設委員会



視察日程：平成28年10月12日(水)～13日(木)
視 察 先：宮城県気仙沼市
「土地区画整理事業（震災復旧・復興事業）について」

気仙沼市はさきの東日本大震災で甚大な被害を受け、今もなお行方不明者の捜索が行われるなど、復興の途上にあります。そのような中で、復興を促進するために行っている事業が土地区画整理事業です。

この土地区画整理事業とは、一定の区域内の土地所有者から少しずつ土地を提供してもらい、その土地を利用して道路・公園などを整備し、健全な市街地にすることを目的とするものです。

気仙沼市は中心市街地に津波が到達し、多くの住宅や事業所が被害を受けました。そのため、住居や産業施設を誘導する区域を設定した土地区画整理事業を行っています。住民の安全・安心を確保するため、人が住むところは1,000年に1度の津波に耐えられるよう現在の地盤から3メートル以上の盛土を行っていました。さらに、災害公営住宅を複数建設するなど、被災した住民が戻ってきやすい環境を整備しています。

一方で、復興用の宅地は完成しているにもかかわらず、道路や下水道などのインフラが未整備のため提供が遅れているといった課題も見受けられます。気仙沼市の担当者の方も、短期間で大量の工事を行わなければならないため、さまざまな調整に苦労していると説明を受けました。

平成28年には熊本県や鳥取県で大きな地震が発生しており、福井市でもいつ起きるかは分かりません。まずは地震による被害を抑えることが重要ですが、震災からの復興についても十分に研究していく必要があると感じました。

総務委員会



視察日程：平成28年10月11日(火)～12日(水)
視 察 先：埼玉県越谷市
「中核市移行について」
神奈川県相模原市
「公契約条例について」

越谷市は平成27年4月に埼玉県では川越市に次いで2番目に中核市に移行しています。福井市も平成31年4月に中核市に移行することを目指しており、そのためには保健所を設置することが条件となりますが、専門職員の確保が大きな課題となります。越谷市では埼玉県と協議して、19人の専門職員が県から配置され、職員全体では85人、保健所関係では56人が増員されました。

埼玉県から越谷市に移譲された事務の数は、法定移譲分1,687、県単独事業分337、合わせて2,024にのぼります。県単独事業については「住民サービスの向上が図れる事務」など3つの基本的な考え方をあげ、これらに合致する事務であれば受け入れています。また、条例等の整備については、新たに制定した条例が保健所条例など39件、改正した条例が廃棄物の処理及び再利用に関する条例など11件ということでした。

越谷市を参考にしながら、今後も調査研究を続けていきたいと思っています。

相模原市は平成24年4月に野田市、川崎市に続いて、全国で3番目に公契約条例を制定しています。公契約条例は市が発注する工事や業務委託において従事する労働者の賃金の下限額を保障するもので、労働者の労働意欲を高めて市の事務・事業の質を向上させ、最終的には市民が安心して心豊かに暮らせる市民生活の実現を目指すものです。

公契約条例を導入するには事業者の理解や協力も必要のため、相模原市は商工会議所・建設業協会などの使用者団体や、労働組合協議会などの労働者団体に対して丁寧な説明を重ね、理解と協力が得られたとのことでした。

東日本大震災後は、復旧工事による労働者不足で人件費は高騰していると言われていましたが、労働者賃金の推移や公契約条例を導入している先進市の状況については注視していきたいと思っています。

経済企業委員会



視察日程：平成28年10月12日(水)～13日(木)
視 察 先：長野県上田市
「観光施策について」
長野県長野市
「ジビエ資源の活用について」

上田市は、雄大な自然や歴史的遺産といった観光資源を有しており、毎年400万人を超える観光客が訪れています。こうした中、真田街道沿線自治体や北陸新幹線沿線自治体との連携などを通じ、他の自治体や関連団体と協力して広域的な誘客を図っています。また、映画のロケ地としても万全のバックアップ体制をとっており、多くの撮影実績があります。このような環境のもと「真田丸」の放送を受け、上田市民と一体となって観光資源のさらなる磨き上げに取り組んでいます。駐車場不足という課題もありますが、中心市街地の駐車場をPRすることでまちなかの活性化につなげるなど、本市でも参考にできることは多いと感じました。

長野市では、シカやイノシシ等による農作物被害を防止するため、平成28年4月に「いのしか対策課」を設置し、野生鳥獣対策事業を行っており、その一環としてジビエ振興にも力を入れています。ジビエ加工については食肉処理加工施設の整備が行われ、市も補助金で支援しました。しかし、施設の処理能力に限界があり、捕獲した鳥獣は埋設されるものがほとんどであるため、移動式処理解体車の実証実験を行っており、結果を踏まえて導入を検討するということでした。猟友会会員の高齢化と人員確保、技術の継承、市民への啓発等、課題は多いということでしたが、ジビエ資源の活用によって新たな地域資源の創出や中山間地域の活性化などの効果が期待できるため、今後も先進地の事例として調査研究していきたいと思います。

教育民生委員会

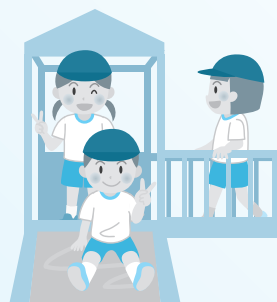


視察日程：平成28年10月13日(木)～14日(金)
視 察 先：福島県伊達市
「健幸ポイントプロジェクトについて」
福島県郡山市
「こども総合支援センター（ニコニコこども館）について」

伊達市では少子高齢化対策として、平成26年度から3年間の予定で国の実証実験として、ほか5市と大学・民間企業との連携により健幸ポイントプロジェクトを開始しました。平成27年度までに1,500人が参加し、歩数のデータを定期的に登録し、市の健康教室などに参加するとポイントが貯まるシステムで、ポイントは地域商品券、社会貢献（寄付）のほか、コンビニエンスストアなどで使えるポイントに交換できます。

事業の成果としては、運動に関心または運動が不十分な層を参加者に取り込めたこと。日常的に車やバイクを利用していた参加者の約6割が歩くように心がけるようになり、参加者の歩数が1日平均1,000歩以上増加したこと。また、健康診査未受診者の約7割が次回は受診する意向を示したことなどが挙げられます。

郡山市では、保健、福祉や教育の各種手続きや相談などができる子育て支援の拠点施設、こども総合支援センター「ニコニコこども館」を視察し、同じ建物内で子育てに関する手続きがワンストップでき、保育スタッフが子どもを預かってくれたり、建物内に大型遊具があったりと、利用者に満足していただける設備やサービスがあり、本市でも良いところを取り入れていきたいと考えています。



福井市議会行政視察受入状況

福井市議会では、本市で取り組んでいる各種事業等に関する行政視察の受け入れを行っており、全国各地から多くの議員が視察に訪れています。

そこで、今年度受け入れした行政視察の調査項目及び件数をお知らせします。



学校教育について	16件
学力・体力向上	15件
学校給食	1件
観光・まちづくりについて	7件
観光おもてなし市民運動	6件
複合施設としての桜木図書館	1件
福井駅西口再開発について	3件
子育て支援について	4件
防災・空き家対策について	4件
防災	3件
空き家対策	1件
中核市について	2件
その他	9件
福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れ	1件
庁舎長寿命化	1件
市場の活用、活性化・地域ブランド(ふくい一押しの逸品)	1件
ほか	6件
合計	45件

今年度受け入れした市区町村議会の一覧

番号	年 月 日	都 市 名	調 査 項 目
1	H28.04.20	沖縄県 読谷村	自治体における正規、非正規の職員の実情について
2	H28.04.26	大阪府 八尾市	学力・体力の向上について（学校視察）
3	H28.05.10	福井県 永平寺町	公民館について・公民館職員との意見交換
4	H28.05.11	宮崎県 木城町	学力向上等・先進的教育施策の推進について
5	H28.05.11	兵庫県 三田市	空き家対策事業について
6	H28.05.12	埼玉県 川越市	中学校区教育・体力向上について
7	H28.05.18	島根県 出雲市	企業誘致について
8	H28.05.19	山口県 岩国市	市場の活用、活性化・地域ブランド（ふくいー押しの逸品）について
9	H28.05.20	富山県 富山市	福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れについて
10	H28.05.23	福井県 あわら市	福井駅周辺の再開発について
11	H28.05.25	鳥取県 倉吉市	学力向上について
12	H28.05.25	長野県 長野市	福井駅・城址周辺地区まちづくりガイドラインについて
13	H28.07.01	岡山県 倉敷市	行財政改革について（人員削減や機構改革等の業務改善）
14	H28.07.06	群馬県 富岡市	まちづくり福井(株)について
15	H28.07.06	広島県 海田町	庁舎長寿命化について
16	H28.07.08	長野県 岡谷市	福井駅西口再開発ビルについて（現地視察）
17	H28.07.12	愛知県 岡崎市	おもてなし市民運動・観光ビジョンについて
18	H28.07.13	福井県 坂井市	学校給食の食材発注システムについて
19	H28.07.19	長崎県 長崎市	福井駅の周辺整備について
20	H28.07.20	滋賀県 東近江市	少子化対策について
21	H28.07.26	兵庫県 伊丹市	子育て支援について
22	H28.07.27	広島県 安芸高田市	福井市の防災計画について（山間地域・集落での防災の取り組み）
23	H28.08.03	兵庫県 三木市	観光おもてなし市民運動について
24	H28.08.17	三重県 四日市市	複合施設としての桜木図書館について
25	H28.08.26	東京都 江東区	観光おもてなし市民運動について
26	H28.09.28	青森県 おいらせ町	学力向上の取り組みについて
27	H28.10.11	宮城県 多賀城市	学力・体力向上について
28	H28.10.14	大分県 日田市	学力・体力向上について
29	H28.10.18	北海道 苫小牧市	福井市教育振興基本計画について
30	H28.10.19	兵庫県 尼崎市	孫育て応援事業について
31	H28.10.20	群馬県 太田市	自主防災組織、ふくい減災プロジェクトについて
32	H28.10.21	新潟県 糸魚川市	学力向上について
33	H28.10.26	岡山県 奈義町	学力向上について（学校視察）
34	H28.10.27	宮崎県 都城市	学力向上の取り組みについて
35	H28.10.31	千葉県 市川市	体力向上・学力向上の取り組みについて
36	H28.11.01	福岡県 嘉麻市	観光おもてなし市民運動について
37	H28.11.07	徳島県 鳴門市	公立幼保連携型認定こども園の開設について
38	H28.11.08	茨城県 鹿嶋市	観光おもてなし市民運動について
39	H28.11.10	東京都 大田区	観光振興の取り組みについて
40	H28.11.15	北海道 北見市	災害に備えた応急給水設備（水道記念館視察）
41	H28.11.22	新潟県 上越市	中核市について
42	H28.01.13	栃木県 小山市	体力向上・学力向上の取り組みについて
43	H29.01.18	静岡県 沼津市	中核市について
44	H29.01.19	三重県 松阪市	学力向上について
45	H29.01.24	奈良県 大和高田市	体力向上・学力向上の取り組みについて（学校視察）

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。
議案等の審議結果は、14～15頁に掲載しています。

12月定例会

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成27年度各会計

（一般・特別・企業）決算の認定等について審査するため、10月3日、4日の2日間、委員会を開催しました。審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。

（各会計決算は左記の表参照）

平成27年度 一般会計・特別会計決算総括表

（単位：円）

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	117,816,993,808	116,103,789,745
国民健康保険	28,534,752,318	31,193,068,349
国民健康保険診療所	3,488,668	3,454,346
後期高齢者医療	2,952,939,178	2,947,453,278
介護保険	23,061,413,583	22,895,540,017
交通災害共済	2,871,450	2,871,450
競輪	9,604,593,611	9,445,293,580
簡易水道	419,965,563	419,526,845
宅地造成	1,829,441,242	1,429,068,788
中央卸売市場	771,276,840	770,791,369
駐車場	320,855,562	320,760,392
集落排水	831,782,944	831,471,556
地域生活排水	169,333,058	166,708,750
福井駅周辺整備	2,285,353,889	2,284,945,027
合計	188,605,061,714	188,814,743,492

平成27年度 企業会計決算総括表

（単位：円）

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	9,446,980,316	8,805,407,140	641,573,176
	資本的収支	5,263,790,562	7,797,762,062	△ 2,533,971,500
ガス事業	収益的収支	3,422,400,183	2,904,125,458	518,274,725
	資本的収支	296,113,193	1,004,294,865	△ 708,181,672
水道事業	収益的収支	4,864,500,234	4,076,636,940	787,863,294
	資本的収支	661,698,854	2,726,268,473	△ 2,064,569,619

- 収益的収支：（料金収入等）－（サービスの提供に必要な経費等）
- 資本的収支：（企業債等）－（建設改良費や企業債元金償還金等）
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額などで補てんしています。
- 消費税を含む金額です。

平成28年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で18億7,992万8,000円を増額するもので、補正後の予算額は1,146億8,845万6,000円となります。

また、補正後の全会計の予算額は、2,247億366万4,000円となります。

○一般会計補正予算

夏季における良好な学習環境を確保するための小学校の音楽

室エアコン設置事業、安全で安心な教育環境を確保するための校舎や体育館の外壁落下防止対策事業、良好な学習環境を確保するための老朽化が著しい小学校プール整備事業、老朽化した森田小学校体育館及び給食室の改修を行う森田小学校大規模改修事業、また、魅力ある市街地環境の整備を図るための具体的な整備方針や手法等を示す「福井駅・城址周辺地区市街地総合再生計画」を策定する市街地総合再生計画画策定事業、ふれ愛園の入所者の安全確保のための不法侵入者対策を強化するふれ愛園防犯対策事業などに18億7,992万8,000円を計上するものです。

条例

○福井市伊自良館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

福井市伊自良館の施設及び利用料金を見直すものです。

○福井市社会福祉施設設置条例の一部改正について

福井市ふれ愛園を民間に移譲するものです。

○福井市農業委員会に関する条例の一部改正について

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員会の

人事案件

教育委員会委員

平成28年12月21日をもって任期満了となる春木伸一氏を引き続き選任することに同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

平成28年12月21日をもって任期満了となる勝田輝氏を引き続き選任することに同意しました。

市会案（議員提出議案）

条例

○福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

議員の期末手当を引き上げる改定を行うものです。

意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○平成30年産を目途とする生産調整の見直し等に関する意見書について

○教員の働き方の改善に関する意見書について

○地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について

委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(日程順に記載)

決算特別委員会

《各総合支所費》

問 合併から10年以上経過しているのに、総合支所がある3地区だけ予算を分けることは予算執行の上で地区間に不公平が生じるので、本課の予算に集約すべきではないか。

答 現在は、各総合支所管内の市道や河川等の軽微な維持補修などに柔軟に対応するために各総合支所費を設けている。今後は、必要に応じて予算費目をまとめることも検討していきたい。

《固定資産税の滞納繰越分》

問 今後収入未済額が不納欠損額になってしまう可能性が高いため、抜本的な取り組みが必要と考えられるが、どのように回収していくのか。

答 相続関連等の案件に早期に対応する係を新設したり、長期高額滞納案件の滞納整理担当を増員したりするなど、組織的に強化を図っている。また、特に高齢者に対しては相続を含めた相談に乗りながら納付

計画の見直しを行っているほか、口座振替による納税の推進に努めている。

《中央卸売市場特別会計》

問 福井市中央卸売市場協会に約2,300万円を負担金として支払っているが、この団体はどのような事業を行っているのか。

答 市場に関連する全ての業者が費用を拠出してこの協会をつくっており、主な事業は市場での取引から生じるごみの回収処理などを行うことである。また、従業員の健康管理事業やインフルエンザの予防接種なども行っている。

《競輪事業対策特別委員会

《営業成績を上げる方策》

問 収益を上げるためには、本市の記念競輪に、S級S班の人気選手にいかによく出場してもらうかが力ギになると考えるが、どのような取り組みをしているのか。

答 記念競輪は年1回のビッグレースであるため、で

きるだけ多くの人気選手に出場してもらえようように努めている。JK Aと交渉して、出場するS級S班の選手を当初予定されていた2人から4人に増やしてもあったこともある。

問 本市開催の競輪の車券購入意欲を高める電話投票者向けの取り組みの一環として、今年度から新たに車券購入者へのキャッシュバックと特産品越前ガ二極のプレゼントを行ったが、その効果はどうだったのか。

答 今年度の電話投票による売り上げを昨年度の18億8,000万円から21億円にすることを目標としていた。今年度は速報値で、20億9,300万円ということになり、目標には少し届かなかったが、一定の効果はあったと考えている。

問 現在、本市の公営競技事務所の組織体制は、他の競輪施行者への営業の機会を活かせるだけの十分な人員配置がされていないのではないかと感じるが、その点を今後強化していくことについてどのように考えているのか。

答 競輪事業の経験を積み、営業事情に詳しい人を配置することは重要だと考えているので、今後、人事担当課と協議しながら、組織体制づくりに努めたい。

総務委員会

《福井市職員の給与に関する条例等の一部改正について》

問 扶養手当の改正の内容は、子に対する手当額を段階的に引き上げて、配偶者や父母等に対する手当額を段階的に引き下げるとのことだが、年度ごとの扶養手当の総額はどうか推移していくと見込んでいるのか。

答 来年度からの改正に向けた試算では、本市職員は配偶者の扶養手当の支給率は低く、子供の扶養手当の支給率が高いため、扶養手当の総額は若干であるが今後増えていくと見込んでいる。

建設委員会

《工事請負契約の締結について（東安居団地E棟新築工事）》

問 市営住宅の新築、修繕など長寿命化も含めた計画がある中で、今後まちなかには民間の空きマンションが増えていくことから、それらを借り上げて市営住宅とすることを検討すべきではないか。

答 今年6月から福井市住宅問題懇話会を開催しており、そのことも含めてそこで検討し、福井市の住宅のあり方を示していきたい。

経済企業委員会

《福井市ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場の指定管理者の指定について》

問 指定管理者の選定基準の中に地域連携があり、取り組み内容にも「地域周辺施設と連携した旅行商品の造成」とあるが、地域周辺施設とは具体的にどの施設と連携していくのか。

答 越前水仙の里温泉波の華や、越前水仙の里公園といった公共施設などと連携していく。

要request 地域に溶け込んで頼りにされる施設となるよう、地域と連携しながらしっかりと取り組んでほしい。

教育民生委員会

《財産の無償譲渡について（福井市ふれ愛園 児童養護施設）》

問 移譲の応募件数は何件あったのか。また、移譲先である社会福祉法人慶長会の職員配置計画はどのようになっているのか。

答 公募に対して3件の応募があった。社会福祉法人慶長会の人員配置計画は、心理療法職員として臨床心理士を配置するほか、栄養士、食育指導員等の職員を配置する予定である。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、12月5日から7日までの3日間、22人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容の掲載は大項目のみです。

(敬称略)

① 堀江 廣海 (一真会) 1 教育について 2 まちづくりについて	② 水島 秀晃 (志政会) 1 福井市の観光政策について 2 空き家・空き店舗対策について	③ 吉田 琴一 (市民クラブ) 1 北陸新幹線の福井先行開業に向けた現状と金沢―敦賀間開業に向けた進捗状況について 2 学校トイレの現状と整備促進について 3 災害時マンホールトイレの整備状況と今後の対応について
④ 下畑 健二 (公明党) 1 地方創生について 2 福井市避難支援プラン・福祉避難所について 3 道路と歩道の除雪について 4 福井市ガス事業の運営形態について	⑤ 今村 辰和 (一真会) 1 福井市観光振興計画について 2 林業の振興と環境について 3 有害鳥獣の処理について	⑥ 野嶋 祐記 (志政会) 1 ふるさと納税とクラウドファンディングについて 2 国家戦略特区について 3 ハビリン、ハビテラスについて
⑦ 片矢 修一 (市民クラブ) 1 障がい者福祉政策について 2 高齢者の交通事故対策について 3 待機児童問題について 4 福井市行財政改革指針(素案)について	⑧ 西村 公子 (日本共産党議員団) 1 際限ない削減を押しつける年金制度改革関連法案について 2 住まいをめぐる問題と住生活基本計画に対応する市の計画について 3 教員の多忙化の現状と解消に向けた取り組みについて 4 児童手当の拡充と申請手続きについて	⑨ 菅生 敬一 (公明党) 1 防災・減災対策について 2 福祉政策について 3 ごみステーションの設置について
⑩ 池上 優徳 (一真会) 1 保育行政について 2 中山間地域の農業について	⑪ 中村 綾菜 (市民クラブ) 1 マラソン大会に日常的に使用する車椅子での一般参加を可能にするについて 2 福井市教育振興基本計画(素案)について 3 第3次福井市食育推進計画(素案)について 4 福井市第5次男女共同参画基本計画(素案)について	⑫ 瀧波 滋 (志政会) 1 福井国体について 2 ふれ愛園の民間移譲について 3 雨水対策について
⑬ 八田 一以 (一真会) 1 電子自治体の推進について	⑭ 奥島 光晴 (一真会) 1 中核市移行について 2 スポーツ少年団について 3 食について	⑮ 福野 大輔 (一真会) 1 米飯給食について 2 地域担当職員制度について
⑯ 藤田 諭 (志政会) 1 廃棄物処分の対応について 	⑰ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団) 1 消防局のパワハラについて 2 国民健康保険制度の県単位の広域化について 3 ふれ愛園の民間移譲について	⑱ 近藤 實 (志政会) 1 福井市ガス事業経営戦略(素案)について 2 福井市水道事業経営戦略(素案)について 3 普通会計のプライマリーバランスについて 4 ふるさと納税について 5 企業立地について 6 常勤の特別職職員の給与及び職員の給与に関する条例の一部改正について 7 「結婚や子育てに関する若者への意識啓発」のための冊子を作成することについて
⑲ 泉 和弥 (一真会) 1 高齢者運転免許自主返納事業について 2 福祉の担い手について 3 介護給付費の増加と介護保険料について 4 福井市地域包括ケアビジョン(案)について	⑳ 伊藤 洋一 (志政会) 1 友好都市水原市について	㉑ 後藤 裕幸 (志政会) 1 福井市建設工事競争入札参加資格審査申請について 2 除雪計画について 3 市街化調整区域について 4 福井しあわせ元気国体に向けての本市の競技会場について 5 第六次福井市総合計画の評価と第七次福井市総合計画の取り組みについて
㉒ 玉村 正人 (市民クラブ) 1 子どもの貧困対策について 2 福井駅東口周辺の整備について		

一般質問要旨

福井市教育に関する大綱について



ほりえ ひろみ

堀江 廣海 議員

一真会

質問

先般改定された福井市教育に関する大綱は、どのような思いを込めて作成したのか。また、地域の実情等をどう把握、分析し、その結果をどう大綱に反映したのか。

回答

本市の特色である学校教育の優れた水準を維持しながら、社会教育や家庭教育など他の分野もレベルアップを図れるよう教育施策の推進が重要と考え、学校教育では、中学校区教育の取り組み成果を生かし、子供の生きる力を育むため、特色ある教育活動を推進する。ふるさと教育では、郷土の歴史等を学ぶことで福井に誇りを持ち心豊かでたくましい子供を育む教育を推進する。また、社会教育では、住民主体のまちづくりや地域の連帯感の醸成につながる地域活動の支援を推進する。

空き家・空き店舗対策について



みずしま ひであき

水島 秀晃 議員

志政会

質問

空き家は人口減少、まちづくり、防犯・防災といった観点から対策が急務であると考え、現在の取り組み状況と今後の予定は。

回答

利活用が可能な空き家は、空き家情報バンクを開設し、所有者に助言を行うアドバイザーを派遣するなど、登録を推進している。さらに空き家情報バンクに登録された物件には、購入やリフォームに対する補助を行い、利活用を図っている。また、老朽化で危険な空き家は、所有者等に対し助言・指導を行うとともに、解体費用の助成も行っている。

平成29年度からは空き家等の実態調査を行い、空家等対策計画を策定し、新たな利活用や発生予防にも取り組んでいく。

学校トイレの整備促進について



よしだ きんいち

吉田 琴一 議員

市民クラブ

質問

学校トイレの洋式化、手洗いの整備、教職員数に見合った便器数の確保についての本市の見解は。また、教職員トイレが男女共用の学校が3校あるが改修の予定は。

回答

学校トイレの洋式化については、洋式化率の低い学校から順次、個別に整備していく。手洗い場については、給食前後の手洗いや歯磨きのときに混雑することも考えられるため、学校に状況を確認する。教職員の便器数については学校に状況を確認し、不足がある場合は対策を検討する。

また、教職員トイレが男女共用となっている3校については、平成29年度に解消する予定である。

道路除雪について



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

質問

全国の中でも福井県の道路除雪体制の維持が厳しいとの報道がされているが、本市の除雪協力業者の現状は。

また、毎年5月に除雪協力業者へのアンケートを実施しているとのことだが、どのような意見があったのか。

回答

除雪協力業者数は、平成23年度から毎年減少が続いており、本年度の業者数は平成23年度と比較して32社減少して249社である。

毎年除雪業務を委託している業者を対象に、受託についての希望調査を実施しており、その中で、冬期間だけのオペレーターのため人員確保が困難であるとの意見や、除雪機械の老朽化に困っているとの意見をいただいている。

林業の振興について



いまむら しんかず

今村 辰和 議員

一真会

質問

林業の活性化のためには担い手の育成が非常に大事であるが、林業に携わる人の高齢化が進んでおり、林業の将来に不安を感じている。

本市として、今後どのような方針で担い手を育成していくのか。また、担い手を育成する上での補助などはあるのか。

回答

林業の担い手を確保するため、森林所有者の後継者や地域の方への就業の働きかけと併せ、林業の状況や就業のための支援制度等の広報を行い、就業を促している。

また、U・I・Jターンによる新規就業者には国や県の支援制度に加えて、市独自で2年間を限度とする年30万円の奨励金の支援を行うことにより、担い手の育成につなげている。

ふるさと納税について



のじま ゆうき

野嶋 祐記 議員

志政会

質問

ふるさと納税について、本市は今年度返礼品の内容等の見直しを行ったが、現在の受入状況を昨年度と比較するかどうか。寄附金の使途の明確化や具体的に選択できる事業の充実など必要ではないか。また、全国的な返礼品競争の状況を本市としてどのように考えているのか。

回答

今年度のふるさと納税は既に昨年度の1年間を上回っており、11月現在で186件、1,459万6千円となっている。なお、昨年同月と比較すると、134件の増、1,026万5千円の増収となっている。また、これまで本市では子育てや教育環境の充実など4つの使途と、その中の具体的な事業を示しながら寄附の呼びかけを行っている。なお、返礼品競争については、制度の趣旨を踏まえ、取り組んでいくことが必要であると考えている。

高齢者の交通事故対策について



かたや しゅういち

片矢 修一 議員

市民クラブ

質問

昨今、高齢者の重大事故が頻発している。本市の運転免許自主返納事業は、他市と比べても支援が少ないと感じるが、本市の返納者の人数はどのくらいか。また、予算増額や支援の見直しはできないか。

回答

今年度の11月末時点で183人の方から運転免許自主返納支援制度の申請があり、年間では360人を見込んでいる。支援制度の拡充については、現在の支援制度は運転免許を返納された高齢者に対して外出を促すきっかけ作りとして路線バスの利用を促進することを目的としている。そのため、今後も利便性の高い公共交通サービスの提供に努める。予算増額については、他の自治体の取り組みを研究し、より効果の高いものとなるよう検討していきたい。

教員の長時間勤務、多忙化に対する実効力ある解消策の取り組みを求める



にしむら きみこ

西村 公子 議員

日本共産党議員団

質問

県教育委員会が5月に行った教員の勤務実態調査で、中学校で平均11時間34分など多忙化の現状が明らかにされたが、平均時間を上回った小・中学校は何校あったのか。多忙化の具体的な要因と改善の取り組みについての見解は。また、教員の要求は少人数学級の推進や教員配置をふやすことだが、市の考えは。

回答

市の平均勤務時間が県平均を上回ったのは、小・中学校とも4校あった。多忙化の要因は、教職員が学校教育活動以外に、多様な役割が求められることにある。少人数学級の推進や教職員定数、加配定数をふやすことは、多忙化解消の効果が期待され、今後県や国に要望していくほか、市でも支援員配置の充実に努める。

ごみステーションの設置について



すごう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

質問

ごみステーションの設置については、どの自治会でも大変苦労しているが、地域住民の思いが市側にきちんと伝わっていないように思う。一緒に考える姿勢を示し、場合によっては規制の緩和も必要と考えるが、市の見解は。

回答

自治会に対しては、行政嘱託員研修会で丁寧に説明を行うとともに、環境美化地区推進員を通して自治会の意向を聞き取るなど、今後もできる限り相談に対応していく。また、空き地や共用地がないことで常設ボックスが設置できない自治会に対しては、折りたたみ式等の移動ボックスが、道路法上も道路の一時的な使用にあたり、設置が可能となるため、補助金を活用した取り替えを勧めている。

保育行政について



いけがみ まさのり

池上 優徳 議員

一真会

質問

2015年に子ども・子育て支援新制度が施行され、多くの幼稚園、保育園が認定こども園に移行した。制度の見直しや財源問題により、移行するまでの準備期間が短かったが、事業者に対する制度や補助金の説明は十分だったのか。

回答

平成26年度に、市内全ての保育園、認定こども園及び幼稚園を対象に、子ども・子育て支援法の施行に向け、スケジュールや公定価格、運営費請求手続き等の制度全般にわたる内容で説明会を開催した。そのほか、新制度移行園を対象とした説明会も開催した。昨年度及び今年度も新制度移行園を対象に説明会を開催しており、今後も制度や補助金について正しく理解してもらうため、情報提供や問い合わせへの対応を行っていく。

マラソン大会に日常的に使用する車椅子での一般参加を可能にするについて



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

質 問

現在、県内のマラソン大会では、一つの大会を除き、日常的に使用する車椅子では一般参加ができない。

本市が主催・後援・共催するマラソン大会において、日常に使用する車椅子での一般参加を可能にすべきと考えるが、見解は。

回 答

市街地を走るマラソン大会は参加人数が多く、新たに別のコースを設定することが難しいため、参加者同士の接触や道路の段差における転倒などの危険性が考えられる。

この様なことから、現在本市では車椅子で参加できるマラソン大会はないが、今後スポーツ公園の敷地内を走るファミリーミニマラソンのような大会に、車椅子利用の家族が参加できるよう検討する。

ふれ愛園の民間移譲について



たきなみ しげる

瀧波 滋 議員

志政会

質 問

本市の福祉施設であるふれ愛園は、平成29年10月から養護老人ホーム、児童養護施設はそれぞれ社会福祉法人へ無償譲渡されるが、その選定の経緯と移譲後の防犯設備の活用は。また、入居者の生活は移譲後も安心、安全なものになるのか。

回 答

福井市ふれ愛園の民間移譲に当たり、養護老人ホームは2法人、児童養護施設は3法人から申請があり、7月の選定委員会で譲渡先を選定した。防犯設備は、移譲から施設解体までの期間は譲渡先の2法人に無償貸与し、解体後は、本市の他施設で活用する予定である。現在、本市と移譲先が連携して引継ぎ作業を行っており、移譲後も入居者に適切なサービスが提供されるようにしていく。

電子自治体の推進について



はった いちい

八田 一以 議員

一真会

質 問

今年度策定された第二次福井市情報化ビジョンでは、その柱の一つに、電子自治体の推進を挙げている。近い将来、電子自治体の標準的なスタイルは自治体クラウドになると考えられているが、本市の自治体クラウドへの取り組みの現状と見解は。

回 答

現在、本市では自治体クラウドを導入していない。今後は、平成32年度に予定している次期システムの更改のタイミングでの自治体クラウドの導入について、ITコンサルティング事業者を交えて検討を行い、今年度末までに方針を決定する予定である。

スポーツ少年団の現状と課題について



おくしま みつはる

奥島 光晴 議員

一真会

質 問

先般、福井市教育振興基本計画（素案）が発表されたが、本市のスポーツ少年団への加入状況は本市全児童の約15%と、少ないように感じる。

「子どもは加入したいが、送迎できないので加入させてやるができない」との保護者からの声があるが、行政として、希望する児童は全員加入できるよう支援ができないか、チルドレンファーストで臨むべきではないか。

回 答

保護者送迎の加入条件が、共働きなどの家庭状況により加入への阻害要因となっているのであれば、団体に対して加入条件の再検討をお願いするとともに、一人でも多くの児童が加入できるよう、各種交流会や研修会の機会を捉え、各団体を通じて保護者同士の協力体制をお願いしていく。

地域担当職員制度について



ふくの だいすけ

福野 大輔 議員

一真会

質 問

本年度の機構改革の目玉の一つである地域担当職員は、これまで各地区でどのような地域参画をしてきたのか。

また、地域担当職員であるかどうかに関わらず市職員が地域貢献やまちづくりに参画していくことについての市の考えは。

回 答

市が全地区に対して支援を行う地域の魅力発信事業の企画会議等にスタッフの一員として参画するほか、地区の文化祭や自治会連合会の会議等にも出席し、地域の方々と議論することで課題や問題点の把握に努めている。

また、地域貢献の意識を持つことや、地域のまちづくりに積極的に関わることは重要と考えており、今後も全職員が地域参画への意識を高めていくよう働きかける。

廃棄物処分の対応について



ふじた さとし

議員 藤田 諭

志政会

質問

民間最終処分場の建設に対する周辺住民の考えや、設置に向けた住民への説明の必要性の基準はどうなっているのか。また、本市の今後の取り組みは。

回答

県の指導要綱は、最終処分場予定地の自治会と、最終処分場の設置を周知することが適当であると認める地域に対して、事業者に住民説明会の開催を義務付けている。

設置予定地の下流域住民の中には生活環境の保全などに不安を感じる方がいることから、本市は今後も県及び事業者に住民の不安払拭に向けた誠意ある対応を求めている。

消防局のパワハラの再発防止のために実態調査を



すずき しょうじゅ

議員 鈴木 正樹

日本共産党議員団

質問

11月に報道された消防局における暴力行為や全裸強要のパワハラは、被害者の心を傷つけるもので許すことはできない。徹底した再発防止策を実施するために消防局の職員全員を対象とした、実態を調べるアンケートを実施すべきと考えるがどうか。

回答

昨年の調査では訓練指導とパワーハラスメントをしっかりと区分し理解できる職員として消防司令補以上を対象とした。仮に全職員を対象に実施したとしてもその区分ができないことから正確な調査回答が得られなかったと考える。

しかし、今回の事案を踏まえ、安全衛生室の協力を得て、全消防職員にアンケート調査を実施し、今後二度とこのようなことがないようにする。

プライマリーバランスについて



こんどう みのもる

議員 近藤 實

志政会

質問

来年度以降、主要な施策の成果報告書及び一般会計・特別会計決算審査意見書にプライマリーバランスの達成状況について記述すべきと考えるがどうか。

回答

プライマリーバランスは財政の健全性を表す基本的な指標であることから、主要な施策の成果報告書に記載する方向で対応する。

また、これまで決算審査意見書には財政状況を表す指標として、財政力指数、経常収支比率、公債費率、実質収支比率などを記載してきたが、プライマリーバランスも重要な指標の一つであることから、今後は、その分析及び監査委員の意見の表明について、監査委員会において十分協議した上で決定する。

医療・福祉分野で働く職員の不足について



いずみ かずや

議員 泉 和弥

一真会

質問

本市は医療機関や介護・福祉施設等が多く充実しており、働く場の選択肢は多いが、人材が不足している。若い人材が定着できるような支援、施策はないか。

回答

労働者が安心して働き続けられるよう職場環境を改善する市内中小企業の取り組みを重点的に支援しており、労働時間の縮減や育児・介護休業の取得促進等に取り組む企業に、経費の一部を補助している。また、雇用の安定化を図るため、若者やU・Iターン者を正規雇用した企業に、奨励金や助成金を交付している。これらの支援は、医療・福祉分野に限定した制度ではないが、労働環境の改善と正規雇用化が若い人材を定着させるため、大変重要であると考えている。

友好都市水原市について



いとう よういち

議員 伊藤 洋一

志政会

質問

本市の友好都市である韓国の水原市が、水原市の姉妹都市であるドイツのフライブルク市に従軍慰安婦像を寄贈しようとした件で、市長は水原市訪問を中止したが、今後友好関係を続けるのは困難ではないか。

回答

国際交流はお互いの市民が主体となつて様々な交流を培っていくべきものではあるが、その基礎となる姉妹友好都市交流は、多少の困難があつても基本的には継続していかなければならないと考えている。今回、水原市長がフライブルク市に慰安婦像を建てる提案をしたことは極めて遺憾であり、親書によりその旨を水原市長に伝えているが、この件のみをもって友好都市提携を解消することは考えていない。

福井市建設工事競争入札参加資格審査申請について



ことう ひろゆき

後藤 裕幸 議員

志政会

質問

福井市の発注する工事等に新規で入札に参加する場合の入札参加資格要件の中に、建設業法の許可を受けてから、継続して3年以上建設業を営む者で、2年又は3年平均の完成工事高が500万円以上あり、かつ、その建設工事の許可を受けてから継続して3年以上経過しているものに限るとある。これは条件が厳しいのではないかと思うが、要件の根拠は何か。

回答

入札参加資格審査要件を設けているのは、本市発注工事における品質確保のためにも業者の施工能力、施工実績等を考慮する必要があるからである。

また、実体の伴わない、いわゆるペーパーカンパニーを排除する上でも有効と考えている。

子どもを貧困から救うための施策について



たまむら まさと

玉村 正人 議員

市民クラブ

質問

子どもの貧困対策における母子・父子自立支援員に寄せられる相談内容にはどのようなものがあり、どのように対応しているのか。

回答

平成27年度は896件、平成28年度は11月末現在で、971件の相談を受けている。主な相談内容は、経済的支援等が326件、就労が195件、児童の教育等が141件、借金が79件、病気等が67件となっており、それぞれ相談の内容に応じた支援制度を紹介している。

必要な場合には、弁護士やハローワーク等専門的に取り扱っている機関に迅速かつ的確につなげており、手続き等が複雑・困難な場合には、相談員が随行するなどのサポートをしている。

予算特別委員会

各会派における主な質疑内容を紹介します。

一真会

見谷喜代三 泉 和弥
田中 義乃 池上 優徳
福野 大輔

●福井駅周辺のにぎわい創出
今回のプロジェクト
マッピングはどのような内容で行うのか。

子どもサンタの大冒険をテーマに、福井市の魅力を朝倉ゆめまと一緒に巡るストーリーで、12月21日から23日及び25日の4日間、1日4回、1回当たり約15分間、ハピテラス北側のスクリーンを活用し投影を行う。立体的な映像、迫力のある音響、特殊効果をお客様に体験してもらえ内容になっている。

●福井市の農業活性化

平成30年度に国による米の生産数量目標の配分がなくなるのと同じくして、本県では先ごろ報道発表された

ポストコシヒカリが本格的に生産、販売されることになるが、本市は福井の米のブランド化等の戦略についてどのように考えているのか。

国からの生産数量目標の配分がなくなっても、県や関係団体と連携して需給調整を行いながら、美味しい米であるポストコシヒカリを差別化して販売していく戦略が必要だと考えている。

志政会

加藤 卓信 野嶋 祐記
伊藤 洋一 後藤 裕幸
瀧波 滋

●福井団体

子ども達の学校観戦については、どのように行うのか。また、観戦以外に子ども達は国体にもどのように関わっていくのか。

学校観戦については、小学校4年生から6年生、

中学校全学年を対象に、学校あるいは学年単位での観戦を考えている。来年度に競技や日時等の希望を調査し、できるだけ希望に沿った観戦ができるように調整する。

また、観戦以外の子どもの関わりについては、デモンストレーションスポーツへの参加や花いっぱい運動における花の育成、応援のぼり旗の作製等に関わってもらいたいと考えている。

●コンベンション機能の現状と将来

本市での大規模コンベンションの開催には会場の規模やホテル、飲食店等の周辺施設に関する課題があると思えるが、今後の方向性についてどのように考えているのか。

全体会議を福井市体育館で、レセプションをフェニックス・プラザで開催するなど、会場はフェニックス・プラザと併せて福井市体育館を活用していきたい。

また、今後は北陸新幹線福井開業に向けて、JR福井駅周辺のホテルや公共施設が連携することで、本市のコンベンション機能を高め、誘致活動を展開していきたい。

市民クラブ

吉田 琴一 中村 綾菜
村田 耕一

●ふれ愛園の児童養護施設

問 Question
ふれ愛園を民間移譲した後、本市はどのように運営に関わっていくのか。

答 Answer
移譲先の法人との間で定期的に連絡会を開催することによって運営に関わっていくと考えている。連絡会の定期的な開催については移譲先の法人と既に合意しており、今後は開催方法などについて協議していく。

こととで運営に関わっていくと考えている。連絡会の定期的な開催については移譲先の法人と既に合意しており、今後は開催方法などについて協議していく。

公明党

下畑 健二

●道路下の空洞調査

問 Question
本市が現在策定している国土強靱化地域計画の中に道路下の空洞調査と補修を明記することについてどう考えているのか。

答 Answer
国土強靱化地域計画については国のガイドラインに基づき、大規模自然災害がもたらす最悪の事態の設定やその最悪の事態を回避するための現

状の施策に問題があるかどうかの評価、及びその対策について検討を進めており、今年度末までに素案を作成する予定である。道路下の空洞調査等の記載については、道路のほか、橋梁等も含めた全体の安全対策の中での優先順位や費用対効果を考慮した上で検討していきたい。

日本共産党議員団

鈴木 正樹

●事業経営戦略（素案）とその料金値上げ

問 Question
本市の地盤がゆるいという土地の特性上、水道管の耐震化率は全国的に比べて低くなっているということだが、市民のライフラインである水道管の耐震化を進める上で、投資的経費を削減するために、国や県に補助制度の拡充を求める取り組みを強めてはどうか。

答 Answer
毎年、国及び県に対して耐震化事業にかかる制度の拡充、補助率の引き上げ、また採択基準の緩和措置を要望しており、今後も継続して要望していきたい。

議案等の審議結果

(12月定例会)

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (賛否状況は15頁に掲載)
第80号議案	平成27年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月29日 認定	●
第81号議案	平成27年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃 原案可決及び認定	●
第82号議案	平成27年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃 認定	●
第83号議案	平成27年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃 原案可決及び認定	●
第84号議案	平成28年度福井市一般会計補正予算	12月20日 原案可決	●
第85号議案	平成28年度福井市国民健康保険特別会計補正予算	〃 〃	
第86号議案	平成28年度福井市後期高齢者医療特別会計補正予算	〃 〃	
第87号議案	平成28年度福井市介護保険特別会計補正予算	〃 〃	
第88号議案	平成28年度福井市競輪特別会計補正予算	〃 〃	
第89号議案	平成28年度福井市簡易水道特別会計補正予算	〃 〃	
第90号議案	平成28年度福井市宅地造成特別会計補正予算	〃 〃	
第91号議案	平成28年度福井市中央卸売市場特別会計補正予算	〃 〃	
第92号議案	平成28年度福井市集落排水特別会計補正予算	〃 〃	
第93号議案	平成28年度福井市地域生活排水特別会計補正予算	〃 〃	
第94号議案	平成28年度福井市福井駅周辺整備特別会計補正予算	〃 〃	
第95号議案	平成28年度福井市下水道事業会計補正予算	〃 〃	
第96号議案	平成28年度福井市ガス事業会計補正予算	〃 〃	
第97号議案	平成28年度福井市水道事業会計補正予算	〃 〃	●
第98号議案	福井市非常勤の特別職員の報酬等に関する条例の一部改正について	〃 〃	●
第99号議案	福井市非常勤の特別職員の給与に関する条例の一部改正について	〃 〃	●
第100号議案	福井市職員の給与に関する条例等の一部改正について	〃 〃	●
第101号議案	職員の退職手当に関する条例の一部改正について	〃 〃	
第102号議案	福井市伊自良館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃 〃	
第103号議案	福井市市税賦課徴収条例等の一部改正について	〃 〃	
第104号議案	福井市社会福祉施設設置条例の一部改正について	〃 〃	●
第105号議案	福井市市税賦課徴収条例の一部改正について	〃 〃	
第106号議案	福井市ガス供給条例及び福井市簡易ガス供給条例の一部改正について	〃 〃	
第107号議案	福井市農業委員会に関する条例の一部改正について	〃 〃	●
第108号議案	工事請負契約の締結について（東安居団地E棟新築工事）	〃 〃	●
第109号議案	福井市伊自良館の指定管理者の指定について	〃 〃	
第110号議案	福井市聖苑の指定管理者の指定について	〃 〃	●
第111号議案	福井市ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場の指定管理者の指定について	〃 〃	●
第112号議案	財産の無償譲渡について（福井市ふれ愛園 養護老人ホーム）	〃 〃	●
第113号議案	財産の無償譲渡について（福井市ふれ愛園 児童養護施設）	〃 〃	●
第114号議案	福井市と坂井市との境界変更について	〃 〃	
第115号議案	教育委員会委員の任命について	〃 同意	
第116号議案	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃 〃	
第117号議案	平成28年度福井市一般会計補正予算	〃 原案可決	●

議案番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (賛否状況は下部に掲載)
第30号報告	専決処分の報告について(和解及び損害賠償額の決定について)	11月29日 受理	
第31号報告	専決処分の報告について(工事請負契約の変更について)	//	
第32号報告	専決処分の承認を求めることについて(福井市国見岳森林公園の指定管理者の指定について)	12月20日 承認	
市会案第8号	平成30年度を目途とする生産調整の見直し等に関する意見書について	// 原案可決	●
市会案第9号	教員の働き方の改善に関する意見書について	//	
市会案第10号	福井市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	//	●
市会案第11号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書について	//	●

(12月定例会) 請願・陳情の審議結果			
請願・陳情番号	件名	審議結果	賛否が分かれた議案 (賛否状況は下部に掲載)
請願第8号	政府への農業者戸別所得補償制度の復活を求めることについて	12月20日 不採択	●
請願第9号	平成30年度を目途とする生産調整の見直し等に関することについて	// 採択	●
陳情第4号	所得税法第56条の廃止を求める意見書提出について	// 不採択	●
陳情第5号	教員の働き方の改善に関する意見書提出について	// 採択	

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対
※原則議長(皆川信正)は採決に加わりません。

議案 番号	会派名 議員名	審議 結果	一真会											志政会											市民クラブ					公明党			日本共産党 議員団		
			皆川 信正	見谷 喜代三	今村 辰和	堀江 廣海	奥島 光晴	谷本 忠士	泉 和弥	田中 義乃	八田 一以	池上 優徳	福野 大輔	加藤 卓信	石丸 浜夫	青木 幹雄	野嶋 祐記	伊藤 洋一	藤田 諭	後藤 裕幸	水島 秀晃	瀧波 滋	近藤 實	吉田 琴一	堀川 秀樹	中村 綾菜	玉村 正人	片矢 修一	村田 耕一	下畑 健二	島川 由美子	菅生 敬一	西村 公子	鈴木 正樹	
第 80 号議案		認定	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 81 号議案		原案可決及び認定	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 82 号議案		認定	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 83 号議案		原案可決及び認定	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 84 号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 97 号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 98 号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第 99 号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第100号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第104号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第107号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第108号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第110号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第111号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第112号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第113号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
第117号議案		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
市会案第 8 号		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
市会案第10号		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
市会案第11号		原案可決	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
請願第 8 号		不採択	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
請願第 9 号		採択	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反
陳情第 4 号		不採択	－	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反

議会日誌 (平成28年10月～12月)		12月定例会	
10月 3日	決算特別委員会(～4日)	11月29日	本会議
6日	全国競輪主催地議会議長会役員会(東京都)	30日	議会運営委員会
17日	福井県市議会議長会中央要望活動(東京都)	12月 5日	本会議(一般質問)
21日	福井県市議会議長会県要望活動	6日	本会議(一般質問)
25日	北信越市議会議長会理事会、評議員会(松本市)	7日	本会議(一般質問)
26日	議会運営委員会	8日	総務委員会、建設委員会
27日	全国競輪主催地議会議長会役員会、第119回臨時総会(松阪市)	9日	教育民生委員会、経済企業委員会
11月 2日	第2回定例福井県市町総合事務組合議会	14日	予算特別委員会
	第41回福井県自治会館組合議会定例会	15日	予算特別委員会
	福井県後期高齢者医療広域連合事務組合議会定例会	16日	議会運営委員会
	9日 全国市議会議長会第205回理事会・第101回評議員会(東京都)	20日	議員全員協議会、本会議
10日	第28回都道府県庁所在都市議長会定期総会(盛岡市)		
21日	競輪事業対策特別委員会		
22日	議員全員協議会、議会運営委員会		
28日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第167回定例会(あわら市)		



議会報告会を開催します

平成29年度当初予算や、その他上程された議案に対する審議の経過などについて報告します。
市政全般について、皆様のご意見をぜひお聞かせください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

と	き	ところ
4月	5日(水) 19:00~	宝永公民館
4月	5日(水) 19:00~	和田公民館
4月	6日(木) 19:00~	一光公民館
4月	6日(木) 19:00~	棗公民館
4月	7日(金) 19:00~	清水東公民館
4月	7日(金) 19:00~	森田公民館
4月	11日(火) 19:00~	社北公民館
4月	11日(火) 19:00~	宮ノ下公民館
4月	12日(水) 19:00~	清水南公民館
4月	12日(水) 19:00~	東郷公民館
4月	13日(木) 19:00~	春山公民館
4月	13日(木) 19:00~	六条公民館

※事前の申込は必要ありません。



平成28年に開催した議会報告会の様子

編集後記

12月定例会が終わり師走、正月と慌ただしさが疾風のごとくの感でありました。

今回の一般質問では、中心市街地等の活性化、観光振興、子どもの貧困対策、除雪対策、教員の多忙化解消など22人の議員が多面的な視点で臨みました。議員一人ひとりがこのまちを良くしたいとの思いで、市民の皆さまのお声をしっかり受け止めながら、これからも取り組みを進めてまいります。皆さまの叱咤激励をよろしくお願いいたします。

(玉村、村田)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

議場コンサートの開催

去る11月29日、12月定例会本会議前に、フルート・オカリナ奏者の浅川由美さんと、電子ピアノ奏者の竹沢友里さんをお招きし、心和む、希望が湧いてくる楽曲を演奏していただきました。

《演奏者の紹介》

浅川 由美 氏

福井ライフアカデミーなどで、オカリナ演奏も取り入れた“心や体にもたらす音楽の力”についての講演活動を行い、国内外で幅広く活躍。



竹沢 友里 氏

アンサンブルピアニストとして合唱団、弦楽器、声楽との共演を重ねておられ、クラシックに留まらず、ジャズ、ポピュラーまで多岐にわたって活躍。

次回は
3月定例会
です。

日程は
ホームページで
掲載中です

傍聴してみませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

(席数：91席 車イス用：6席)

常任委員会

総務・建設・教育民生・経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算・競輪事業対策

議員全員協議会



お問い合わせ

☎0776-20-5506 議会事務局 庶務課